

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 3班	時間	11:32～12:00
事業番号	25	担当部署	経済産業部労働政策課
事業名	仕事と生活の調和推進中小企業支援事業費		
事業費	3,491 千円		
事業仕分け結果		県（要改善）	
区分	(1)不要	1	
	(2)民間	1	
	(3)国・広域		
	(4)市町村	1	
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	2	
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 不要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画は作り放しであり、そこから得られるであろう障害を分析し、次の政策に結びつけない限り、今のまま実施しても効果が薄いので、一旦停止して見直してほしい。 ・ ファミリーサポートセンターへの支援は国の基準のまま実施している。県の方向性がない中で続けても、市町が補助金に頼り、無理に100人集めて実施しがちになる。補助の在り方も再考してほしい。 <p>< 民間 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県で長いこと実施しているが成果がわからないので、成果をはっきり把握できる民間で実施した方がよい。 <p>< 市町村 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業は地域に密着しており、地元の市町、商工会議所や産業界のグループが連携したところにお任せした方が、地域密着型となる。 <p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワーク・ライフ・バランスは民間ですべき。 ・ アドバイザー派遣については経営指導として中小企業政策全体の中で実施すべき。 ・ ワーク・ライフ・バランスを取り入れた場合の企業側のメリットが弱い。経営指導の観点からでないとなりにくいのではないかと感じる。問題の根本原因に対して、現在の事業が効果をあげていないと感じるので、大きな改善が必要。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ワーク・ライフ・バランスの普及は必要ないということではない。 ・ ただし、このやり方では効果が見えないので不要という意見もあった。一つ一つの事業は、このやり方でよいのか見直しが必要であるとの意見が多かったので、今後検討してほしい。 ・ 企業は、経済状況で変わる。景気がよいときであれば、推進する企業も増えてくるが、一旦景気が悪くなればそうではなくなる。企業の意識の問題もあるが、ワーク・ライフ・バランスを導入したことにより、よくなった企業の情報などを提供していくことも必要。 			

静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

日/班名	1日目 3班	時間	12:03～12:45
事業番号	26	担当部署	経済産業部マーケティング推進課
事業名	しずおか農林水産物等販路開拓事業費		
事業費	20,600 千円		
事業仕分け結果		民間	
区 分	(1)不要		
	(2)民間		2 + 1
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		1
	(7)県実施（現行どおり）		2
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 民間 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本来は経済活動であるので民間主導であるべき。県はお助けするという位置であるべき。 ・ 投入量と経済波及効果を示し、全体像を考えるべき。 <p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率化をした方がよい。 <p>< 県実施（現行どおり） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路開拓事業の拡充が必要。ふじのくにブランドの確立を追求した方がよい。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県が実施しているからそれに参加する、という主体性の問題がある。 ・ 自分たちがつくったものを自分たちが売ることが経済の原則。誰かが売ってくれるのを待っている状態が本当によいのか、生産者にもう一度考えてほしい。 ・ 県が何もやらなくてよい、放っておけばよいのではなく、県はお手伝いの部分、後押ししてあげる程度でよいと考えられるので、もう一度見直してほしい。 ・ 県が主体でやる方法も民間が主体である方法もあり、意見がわかれたが、最終的な判断は県であるので、今後県としてどうあるべきかを検討してほしい。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 3班	時間	13:23~14:00
事業番号	27	担当部署	経済産業部雇用推進課
事業名	大学生・離職者等就職支援事業費		
事業費	16,500 千円		
事業仕分け結果		県（現行どおり）	
区 分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		2
	(7)県実施（現行どおり）		3
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を拡大してほしい、就職の機会をより多くという意味では拡充であるが、面接の効果など具体的に数値が出てこない。県全体の政策として比較ができていない。効果が高いものを示し、そこに集中した方がよいという意味で改善。 ・ 事業自体は大切であるが、成果だけみれば何かしらの改善が必要。 ・ 中小企業の現状の魅力を伝えることも必要であるが、そもそも魅力自体があがってこないと難しい部分もあるが、県全体の取組として改善点もある。 <p>< 県実施（現行どおり） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を拡充してほしい。 ・ 雇用機会の拡大、大学と企業とのマッチングの場を拡大することに留意すべき。 ・ 大学ともさらに連携してほしい。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を拡充してほしい。 ・ 就職環境は現状でも相当厳しい。 ・ 効果的な対策ができるようがんばってほしい。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 3班	時間	15:17~15:55
事業番号	29	担当部署	経済産業部管理局
事業名	大阪事務所管理運営費		
事業費	19,784 千円		
事業仕分け結果		県(要改善)	
区分	(1)不要	1	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施(民間委託)		
	(6)県実施(要改善)	4	
	(7)県実施(現行どおり)		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p><不要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な戦略が見えない中で、職員3人でできる範囲は限られる。 ・ 大阪事務所の役割が不明。 ・ 現在実施している業務に効果を望むことは難しい。 <p><県実施(要改善)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪事務所のミッションを明確にすべき。 ・ 財政が厳しいときであるため、まずは経費の削減などに努め、将来的に財政状況がよくなったときは、力を入れてがんばってほしい。 ・ ふじのくに交流会はきちんと成果を精査して、充実させてほしい。 ・ 事業の効果測定を厳格に行うべき。 ・ 明らかな戦略があるなら、拡大(投入量を増やすこと)も必要である。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪事務所がどうしても必要な理由がなかなか出てこなかった。 ・ 大阪事務所があった方がよいことは理解するが費用対効果はどうなのか、今後検討していく必要がある。 			

静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

日/班名	1日目 5班	時間	11:58～12:35
事業番号	47	担当部署	経済産業部林業振興課
事業名	しずおか優良木材の家総合支援事業費助成		
事業費	93,400 千円		
事業仕分け結果		不要	
区 分	(1)不要	2 + 1	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	2	
	(7)県実施（現行どおり）	1	
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 不要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県産材の需要を増して、県産材の供給体制を強化する目的は理解できるが、手段としては適当ではなくゼロベースで見直すべき。 ・ 一件あたり30万円を300件助成するのではなく、9,000万円を別の手法に一括投下したほうが、効果が大きいのでは。 ・ 県産材で家を建てたいという人が潜在的にいて、たまたま応募しているだけ。 <p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業の活性化は重要で積極的に推進すべきだが、現在の方法は問題があり見直すべき。 ・ 県産材の利用率による補助率の差をつけることやリフォームへの適用を検討するべき。 <p>< 県実施（現行どおり） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成制度があることで、工務店からの薦めにより、県産材を利用している事実もある。 ・ 事業終了の期限目標を定め、現行どおり取り組みを行うべき。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産材の需要を増して、県産材の供給体制を強化する目的には理解できるが、1件当たり30万円の助成という手段は適当でなく、ゼロベースで見直すべき。 ・ 林業の活性化は重要で積極的に推進すべきだが、現在の方法は問題があり見直すべき。 ・ 目的達成の手段として、個別家屋に助成するのはいかがか？ ・ 終期はいつまでで、抽選方法はどうかということも踏まえ、最適な方法を検討する。 			

静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

日/班名	1日目 5班	時間	13:15～14:05
事業番号	48	担当部署	経済産業部みかん園芸課
事業名	花と緑の世紀情報発信事業費		
事業費	3,000 千円		
事業仕分け結果		不要	
区 分	(1)不要	2 + 1	
	(2)民間	2	
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	1	
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 不要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目的が県内消費の拡大か県産品の競争強化なのか不明なうえ、この手法では効果が望めない、ゼロベースで見直すべき。 ・ この事業の花き産出額の減少の食い止めに対する効果測定がされることが必要。 ・ 施策目標と活動内容の関連性が明確でない。 <p>< 民間 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業界が花き産出額減少に対する危機意識を持って、積極的に取り組むべき。 <p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県の役割は理解できるが、事業の現状分析、課題整理が不十分。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的が県内消費の拡大か県産品の競争強化なのか不明な上、この手法では効果が望めず、ゼロベースで見直すべき。 ・ 花き産出額の減少の食い止めに対する、この事業の効果測定がなされることが必要。 ・ 民間が危機意識を持って積極的に取り組むべき。 ・ 県の役割は理解できるが、事業の評価分析が必要。 ・ 現状分析、課題整理が不十分。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 5班	時間	13:15～14:05
事業番号	49	担当部署	経済産業部みかん園芸課
事業名	「花咲くしずおか」運動普及推進事業費		
事業費	6,180 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		1
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		4
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p><民間></p> <ul style="list-style-type: none"> 花と緑の浸透は図られている。ゼロベースで考えて必要であれば新しい事業を考えるべき。 <p><県実施（要改善）></p> <ul style="list-style-type: none"> 産出額の減少、消費の減少について要因の分析がされていない。 事業の効果測定が行われていない。 同様の運動を続けるのではなく、例えば「花育」に集中する期間を設けるなど、特定事業に集中的に投資すべき。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効果測定が行われていない。 同様の運動を続けるのではなく、特定事業に集中的に投資すべき。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 5班	時間	14:06~14:48
事業番号	50	担当部署	経済産業部商工振興課
事業名	ワンストップサービス機能強化事業費		
事業費	15,398 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		5
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の基本的な枠組み、考え方は理解できるが、事業効果が測定されていない。 ・ 県で担当する事業、民間企業や商工会議所などで担当する事業、しずおか産業創造機構で担当する事業のすみ分けを行う必要がある。 ・ 補助という形で税金投入されているので、しずおか産業創造機構に対して成果の把握を求める必要がある。 ・ しずおか産業創造機構ありきの事業と受け止められてもやむをえない。 ・ しずおか産業創造機構そのものの在り方についても検討する必要がある。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の基本的な枠組み、考え方は理解できるが、事業効果が測定されていない。 ・ 県で担当する事業、民間企業や商工会議所などで担当する事業、しずおか産業創造機構で担当する事業のすみ分けを行う必要がある。 ・ 補助という形で税金投入されているので、しずおか産業創造機構に対して成果の把握を求める必要がある。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 5班	時間	14:55～15:24
事業番号	51	担当部署	経済産業部経営支援課
事業名	地域産業総合支援事業費助成		
事業費	80,000 千円		
事業仕分け結果		県実施（現行どおり）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		2
	(7)県実施（現行どおり）		3
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> 成果も明確であり、事業目的に対して手段も適切と考えるが、雇用の創出など一定期間後のフォローが必要と考える。 1件当たりの補助金額が適正か検討したらどうか。 <p>< 県実施（現行どおり） ></p> <ul style="list-style-type: none"> 前向きな中小企業を支援する施策として評価できる。 補助を受けた後、5年間程度の財務データ提出などの義務付けを行い、それらのデータを活用して、今後の事業にフィードバックすることを検討したらどうか。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> 補助金額が適正かという課題はあるが、前向きな中小企業を支援する施策として評価できる。 納税者へのメリットについても説明する必要がある。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 5班	時間	15:25～16:02
事業番号	52	担当部署	経済産業部地域産業課
事業名	デザイン総合振興対策事業費助成		
事業費	9,632 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		5
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン活用に対する支援の必要性は認められるものの、県とせずおか産業創造機構の役割が明確ではない。 情報サービスシステム運営と問合せ窓口については、技術支援を行っている県工業技術研究所に事業を統合したほうが効率的ではないか。 中小企業にデザイナー等を派遣し製品開発を支援する「デザイン協働開発支援事業」については、しずおか産業創造機構のプロパー事業で行えるのではないか。また、中小企業の状況に応じ派遣回数を見直すなど、弾力的な制度運用を行う必要があるのではないか。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> デザイン活用に対する支援の必要性は認められるものの、効果的な事業実施のため、県とせずおか産業創造機構の役割の見直しを進めて行くべきと考える。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	1日目 5班	時間	16:03~16:50
事業番号	53	担当部署	経済産業部地域産業課
事業名	いきいき商店街づくり事業費助成		
事業費	17,000 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		2
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		3
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p><市町村></p> <ul style="list-style-type: none"> ハード事業については地域密着である市町村が対応するのがよいのでは。 ソフト事業については先進的な取組みのモデル事業として県の関与する意義が感じられるが、部分的であり事業費の配分からすると市町村が実施すべきでは。 <p><県実施（要改善）></p> <ul style="list-style-type: none"> 支援メニューが総花的すぎないか、静岡県らしさを出すために、メニューの絞り込みが必要では。 制度としては良いと思うが、先進的な活性化のためにハード事業からソフト事業にシフトして実施すべき。 市町に差があり、県の積極的な関与が必要。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> 支援メニューが総花的すぎないか、静岡県らしさを出すために、メニューの絞り込みが必要では。 ハード事業からソフト事業にシフトして実施すべき。 			

静岡県事業仕分け結果

班名	2日目 2班	時間	9:20~10:10
事業番号	64-1	担当部署	経済産業部水産振興課
事業名	しずおかの漁業交流活性化事業費(漁村地域振興事業費助成)		
事業費	1,050千円		
事業仕分け結果		民間	
区 分	(1)不要	1	
	(2)民間	2	
	(3)国・広域		
	(4)市町村	1	
	(5)県実施(民間委託)		
	(6)県実施(要改善)		
	(7)県実施(現行どおり)		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 不要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業と県民との交流はマーケティング、後継者育成などの意味合いがあり、本来、事業者が負担すべきもの。 <p>< 民間 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受益者負担として、漁業協同組合が地域漁業や地域の活性化を図っていくべき。 <p>< 市町村 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が市町村に補助金を拠出して行うのではなく、市町村が独自に行うべき。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の漁業協同組合が独自に実施すべき。 ・ 漁業や地域の振興に結びついているのか不明であり、一過性のイベントになっているのではないか。 			

静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

班名	2日目 2班	時間	9：20～10：10
事業番号	64-2	担当部署	経済産業部水産振興課
事業名	しずおかの漁業交流活性化事業費（漁場保全活動委託）		
事業費	1,000千円		
事業仕分け結果		不要	
区 分	(1)不要	2 + 1	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村	2	
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 不要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜名湖の漁場環境について定量的な状況把握がされていないことや関係団体等との連携状況、これまでの成果などの全体像が見えず、必要性が判断できない。 <p>< 市町村 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施地域が浜名湖に特定されていることから地元市町村で行うべき。 ・ NPO 等による環境保全活動のサポートは市町村で実施可能。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜名湖の漁場保全にとって何が必要か、全体像を具体的に示した上で個々の施策の必要性を問うべき。 ・ 地域で実施できることは地域で実施すべき。 			

静岡県事業仕分け結果

班名	2日目 2班	時間	10:15～10:45
事業番号	65	担当部署	経済産業部水産資源課
事業名	カワウ食害防止対策事業費助成		
事業費	3,754 千円		
事業仕分け結果		国・広域	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		4
	(4)市町村		
	(5)県実施(民間委託)		
	(6)県実施(要改善)		
	(7)県実施(現行どおり)		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p><国・広域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県だけでやっていては、他県に生息地があるところには手が出せない。 ・ 考え方を根本的に変えて、広域的に対策を打っていく必要がある。 ・ (他に)38都府県が同じ問題を抱えているならば、国・広域で対策をとるべき。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣県との協議なり、現在入っている関東カワウ広域協議会でできることの検討を進めて、県がそれぞれ広域的に手を結んでやらなくてはならないことがあるのかどうか、検討を進めていただきたい。 			

静岡県事業仕分け結果

仕分け人による多数決の結果が同数となった場合は、コーディネーターが1票を投じて結果を決定（例：2+1）

日/班名	2日目 3班	時間	13:52～14:20
事業番号	80	担当部署	経済産業部茶業農産課
事業名	食育活動推進事業費		
事業費	8,040 千円		
事業仕分け結果		県実施（民間委託）	
区 分	(1)不要		
	(2)民間		1
	(3)国・広域		
	(4)市町村		2
	(5)県実施（民間委託）		1 + 1
	(6)県実施（要改善）		1
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 民間 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標設定、具体的な戦略が不明確。やる気のないところに県が支援しても、税金の無駄遣いになるのではないか。 <p>< 市町村 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の子供たちの一連の活動であり、市町村で実施するのが一番効率的。県は側面支援でよい。 <p>< 県実施（民間委託） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じような事業を行っている民間団体もあるため、委託は可能。 ・ 実施主体としての県の役割は終了。 <p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定にこだわりすぎている。県の役割を明確化すべき。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 数では「市町村」が多いが、コーディネーターとして、NPO その他も含めた「民間委託」でまとめたい。 ・ 食農体験活動は重要だが、それなりの意欲のある方をつなぐため、県としては側面支援に回り、民間委託的なものを取り入れる。 ・ 民間のノウハウを活かすため、事業の体制を組み替えていった方がよい。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	2日目 3班	時間	14:20~14:48
事業番号	81	担当部署	経済産業部畜産課
事業名	畜産物価格安定対策事業費助成		
事業費	25,698 千円		
事業仕分け結果		県実施（現行どおり）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		2
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		
	(7)県実施（現行どおり）		3
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 国・広域 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が独自で助成していても、あまり効果はないのでは。 ・ 国に任せて、その分のお金を県独自の振興策にまわしてはどうか。 <p>< 県実施（現行どおり） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内畜産物の地産地消に向け、さらなるPRを。 ・ 県の助成によって生産者の規模拡大が図られていることから、現行どおり。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が負うべき制度であるが、各県の判断も必要、ということで現行どおり。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	2日目 3班	時間	15:00～15:38
事業番号	82	担当部署	経済産業部農山村共生課
事業名	中山間地域農業振興整備事業費助成		
事業費	15,000 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		1
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		3
	(7)県実施（現行どおり）		1
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p><市町村></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助成の評価があいまい。県と現場との間に距離があるのが原因ではないか。 <p><県実施（要改善）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地の特長を活かした魅力ある農村作りにより、交流人口拡大を含め再編成すべき。 ・ 必要性は認めるが、目標を整理した上、事業の重点化を図るべき。 <p><県実施（現行どおり）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 拡充も含めて、現行どおり。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目標をどのように理解し、指導を行っているかがわかりにくく、不安を感じる面もある。 ・ 中山間地振興は単純な農業振興、というわけではない。生活基盤をどのように確立、維持するのかを、交流人口拡大も含めて再構成すべき。 			

静岡県事業仕分け結果

日 / 班名	2 日目 3 班	時間	15 : 38 ~ 16 : 08
事業番号	8 3	担当部署	経済産業部農山村共生課
事業名	持続的農業促進対策等事業費（持続的農業普及推進事業）		
事業費	4,059 千円		
事業仕分け結果		県実施（要改善）	
区 分	(1)不要	2	
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）	3	
	(7)県実施（現行どおり）		
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 不要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の趣旨は理解するが、効果の検証がなされておらず、コスト意識が非常に甘い。抜本的な見直しが必要。 <p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要な施策であるため、事業を効率化して推進する必要。 ・ 効果が不透明であり、検証する必要。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな目標にしては予算金額が非常に小さい。 ・ 事業の趣旨はわかるが、事業の具体的内容、及び効果がわからない。もう少し精緻な分析をすべき。 ・ 事業目的はいいが、事業の内容と効果について説明できるよう事業の再構成が必要。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	2日目 4班	時間	13:15～13:45
事業番号	89	担当部署	経済産業部農業振興課
事業名	土地利用型農業規模10倍推進事業費		
事業費	1,680千円		
事業仕分け結果		県実施（現行どおり）	
区分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		1
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		1
	(7)県実施（現行どおり）		3
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 国・広域 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業は積極的に推進すべきだが、全国共通の課題であるので国の農業政策の中に位置付け、国の事業の一部を県が受託し実施する方がよい。 <p>< 県実施（要改善） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状に見合う経営体となるよう修正する必要あり。 <p>< 県実施（現行どおり） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的達成のため、協議会方式に拘らず常に方式の検討を継続してほしい。 ・ 更なる品質向上につながるよう、拡充を。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的達成のため、協議会方式に拘らず常に方式の検討を継続してほしい。 ・ 更なる品質向上につながるよう、拡充を。 			

静岡県事業仕分け結果

日/班名	2日目 4班	時間	13:50~14:20
事業番号	90	担当部署	経済産業部農業振興課
事業名	アグリビジネススクール開催事業費		
事業費	2,200千円		
事業仕分け結果		県実施（現行どおり）	
区 分	(1)不要		
	(2)民間		
	(3)国・広域		
	(4)市町村		
	(5)県実施（民間委託）		
	(6)県実施（要改善）		
	(7)県実施（現行どおり）		5
【事業仕分け区分に係る意見】			
<p>< 県実施（現行どおり） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主・自立の農業につながる事業モデルになると思われるので、さらに裾野を拡大してほしい。 ・ 受講者数が少ないと思われるが、非常に成果が上がっているのでよい。 ・ 授業日数が短いと思われるので、拡充を。 			
【班としての全体意見】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主・自立の農業につながる事業モデルになると思われるので、さらに裾野を拡大してほしい。 			